

SX-3990/50/45/40/20 リリースノート

Ver8. 2. 20 (2020/7/10)

① 【不具合修正】 (SX-3950のみ)

概要	10Gb SFP+ポートでタグVLANを使用した際の不具合を修正
内容	10Gb SFP+ポートでタグVLANを使用した際に、VLANフィルタ(allowed-vlan)の設定をすると通信ができなくなる不具合を修正

② 【不具合修正】

概要	SSLアクセラレーション機能利用時に、特定の条件下で稀に再起動してしまう不具合を修正
内容	<p>下記条件を全て満たしている場合に稀に再起動してしまう不具合を修正</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SSLハードウェアオプション未搭載の装置でSSLアクセラレータ機能を利用している ・ECDHEの暗号スイートを有効に設定している ・クライアント認証を利用している ・クライアントがFalse StartによるSSLハンドシェイクを行う <p>※False StartはChromeにてECDHEの暗号スイートを利用した場合に実行されます。 現時点ではChromeのみがFalse Startを利用しますので、他のブラウザをご利用の際は本現象は発生いたしません。</p> <p>SX-3990、及びSSLハードウェアオプション未搭載機器が該当</p>

Ver8. 2. 10 (2019/11/15)

① 【不具合修正】

概要	負荷分散情報等が表示されないことがある不具合を修正
内容	Netwiser本体へのログイン/ログアウトで特定のファイルサイズが増加し、負荷分散情報等の表示ができなくなる不具合を修正 約50万回ログイン/ログアウトを行うと現象が発生

② 【不具合修正】

概要	show vlanの表示が異常となることがある不具合を修正
内容	メモリの状態によってshow vlanコマンドの結果表示が異常となることがある不具合を修正

Ver8. 2. 0 (2019/10/1)

① 【機能追加】

概要	L7負荷分散設定時のWebSocket対応
内容	L7負荷分散設定が行われていてもHTTPレスポンスを自動判別し、WebSocketでの通信と判断した際はデータを転送するモードに切り替わる機能を追加 本機能に設定はなくWebsocket通信を自動判別

② 【機能追加】 (SX-3990のみ)

概要	インラインルーティング構成 制限解消
内容	<p>LANポートを複数作成しVLANを分けても利用されるMACアドレスはポート1のMACアドレスとなり、インライン構成で利用する際は仮想SWの偽装転送及びプロミスキャスモードを有効にする必要があったため、各LANポートのMACアドレスをVLANに割り当てる機能を追加(vlan-mac設定)</p> <p>インラインルーティングのシングル構成で利用する際のプロミスキャスモード及び偽装転送の設定制限を解消</p> <p>※負荷分散に使用するポートは、ポート毎に別のVLANを割り当てる必要があり、冗長構成では使用不可 ※インラインブリッジや冗長構成(インラインルーティング構成を含む)でご利用の場合はプロミスキャスモードおよび偽装転送を有効にする必要があります</p>

③ 【機能追加】 (SX-3990のみ)

概要	ライブマイグレーション実施時 制限解消
内容	任意の期間中、Netwiserの各ポートからGARPを発信し続ける機能(advertise-mode設定)を追加 ライブマイグレーション実施時に、本機能を有効にすることで周辺機器にMACアドレスを通知され、周辺機器のARPエントリが再学習されるまでNetwiserにアクセスが出来なくなる制限を解消

④ 【仕様変更】 (SX-3990のみ)

概要	新規追加ポートshutdown対応
内容	SX-3990にて、新規ポート追加時にshutdown状態での追加となるように変更

⑤ 【不具合修正】

概要	SSL暗号ボードが応答しなくなる不具合を修正
内容	<p>L7負荷分散の設定を行わずにSSLアクセラレータ機能を利用した際に、クライアントとのSSLネゴシエーションが完了する前に実サーバ側からデータを受信するとSSL暗号ボードが応答しなくなる不具合を修正</p> <p>SSLハードウェアオプション搭載機器のみ該当</p>

⑥ 【不具合修正】

概要	SSLヘルスチェックが失敗する不具合を修正
内容	レスポンス文字列の設定を行っている際に文字列判定が正常に動作しない場合があり、その事象によってSSLヘルスチェックが失敗する不具合を修正

Ver8.1.10 (2019/4/16)

① 【新規リリース】 (SX-3990のみ)

概要	SX-3990リリース対応
内容	SX-3990のリリースに関連した仮想版対応

Ver8.0.10 (2019/1/1)

① 【機能追加】

概要	SX-3950リリース対応
内容	SX-3950でサポートされたSFPポート及び電源冗長に対応

② 【仕様変更】

概要	統計情報のCSVファイルに日本語の項目名を追加
内容	WEBUIより収集できる統計情報のCSVファイルに日本語の項目名を出力するよう仕様変更

③ 【不具合修正】

概要	ヘルスチェックが失敗する不具合を修正
内容	HTTPSヘルスチェックをコネクション維持(persist)設定で実行している場合に、2回目以降のリクエストの判定が「Fail」となる不具合を修正

④ 【不具合修正】

概要	L7負荷分散でハーフクローズ状態となった際の不具合を修正
内容	L7負荷分散時、クライアント側からのデータを受信中にサーバがFINを送信しハーフクローズ状態となった際に、クライアントから送信され続けるデータの処理が行われていなかった不具合を修正

⑤ 【不具合修正】

概要	冗長構成時にVLANの管理IPアドレス、またはマスク長を変更した場合、両機器がマスターとなる不具合を修正
内容	VRIDを設定しているVLANの管理IPアドレス、またはマスク長を変更した場合に、VRRP広告の送受信処理に失敗して、両機器がマスターとなる不具合を修正

⑥ 【不具合修正】

概要	設定に関する不具合、その他の不具合を修正
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・タイミングによりConfioigモードに2つの操作端末から入れていたが1つの操作端末しか入れないよう排他処理を修正 ・WEBUIよりCSRを作成するときにワイルドカードを示す「*」を入力できなかった不具合を修正 ・SSLポリシー名に「#」を利用するとWEBUIの機器情報のSSL証明書ファイル画面に表示されない不具合を修正 ・SSLポリシー名に「@」を利用するとWEBUIのSSLアクセラレーション設定画面で証明書の追加ができない不具合を修正 ・IP名に「/」を利用すると統計情報のCSVファイルが表示できない不具合を修正 ・WEBUIより再起動を行うと、エラーダイアログが表示される不具合を修正 ・CRLのダウンロード先URLにIPv6アドレスを使用している場合に、CRLの取得に失敗する不具合を修正

Ver8.0.0 (2018/10/1)

【新規リリース】